

令和3年度琉球大学法科大学院

B日程 未修者コース 入試問題

記述式試験

令和2年11月8日（日曜日）

10時00分～10時45分（45分）

注意事項

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いのないように受験してください。

- 1 この試験では、問題冊子1部、解答用紙1枚、下書用紙2枚を配布します。試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 試験開始後、問題の部分に印刷不鮮明、汚損等があれば直ちに申し出てください。
- 3 解答は、必ず解答用紙に記入して下さい。解答に用いたすべての解答用紙の所定欄に、受験番号、氏名を記入してください。
- 4 黒色または青色であれば筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が薄くならないように十分注意してください。
- 5 試験開始後は、途中退席できません。用便を希望する際は手をあげてください。
- 6 試験終了後、解答用紙を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。
配布した解答用紙は、書き損じや未使用のものも含めて、すべて回収します。問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
- 7 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

〔問題〕 アリストテレスが紹介したとされる「三段論法」の例は次のようなものとされている。

- ・大前提：全ての人間は死すべきものである。
- ・小前提：ソクラテスは人間である。
- ・結論：ゆえにソクラテスは死すべきものである。

この「三段論法」の形式を踏まえて、次の【物語】を読み、末尾の設問に答えなさい。

【物語】

ヴェニス商人アントーニオは貸金業者シャイロックから金を借り受けるにあたり、「指定された日までに借りた金を返すことが出来なければ、シャイロックに私の肉1ポンドを与えます。」旨の契約をした。

アントーニオは、契約で指定された日までシャイロックに借りた金を返すことが出来なかった。

シャイロックは、アントーニオに対し、上記契約に基づき、肉1ポンドを切り取らせることを要求する旨の訴えを裁判所に提起した。

裁判官ポーシャは、「シャイロックは肉1ポンドを取っても良いが、契約には血を1滴でも取って良いとは定められていないので、血を1滴でも流すのであれば肉を切り取ることは許されない。」との理由により、シャイロックがアントーニオの肉1ポンドを切り取ることを認めなかった。

(W・シェイクスピア「ヴェニス商人」に基づく。)

〔設問〕 上記の物語における裁判官ポーシャの判断を、問題文中の「三段論法」の形式に沿って記述した上で、そのように記述した理由を説明しなさい。

【採点基準】

1. 「三段論法」の形式に沿った記述ができていること (15 点)

*以下の記載例と全く同じである必要はない。

・大前提 肉 1 ポンド以外のものをとることは許されない。(6 点)

・小前提 肉 1 ポンドを切り取る場合、それ以外のものである血を採ることになる。(6 点)

・結論 肉 1 ポンドを切り取ることは許されない (3 点)

2. 1のように記述した理由を述べていること (30 点 この中で裁量点も加味する。)

(1) 「肉 1 ポンドを与えます。」という言葉をもとに、どのように考えるべきかが問題となっていることの指摘 (10 点)

(2) 「肉 1 ポンドを与えます。」という言葉から「血を一滴でも取ることはできない」と考えるべきことの理由の記述 (20 点)